

## 第2回原野谷学園新たな学園づくり地域意見交換会 主な御意見・御質問

日 時	平成30年8月24日（金）19:00～21:00
場 所	原野谷中学校体育館
出 席	地域住民約177人（検討委員会委員含む） 事務局 教育長、教育部長、学務課長、学校教育課長 公共施設マネジメント推進室長、学校教育課指導主事 教育政策室長 教育政策室係長、教育政策室指導主事 教育政策室主任、教育政策室主事

### 1 小中一貫教育・学校施設について

#### (1) 御意見

1	<p><b>【平島の方】</b></p> <p>○小中一貫教育を進める上では、分離型を基本に進めるべきである。今、この地域の中でいかに子どもを増やすかが第一である。原田地区は農業がどんどん解体している。グローバル化だとかプログラミング教育だとか企業に沿うような人間づくりをすれば、地域からどんどん人が出ていくだけである。一体型にすると原田地区はつぶれてしまう。</p> <p>○なぜ小中一貫教育のようなことが推進されるのか。これは国にお金がないからである。お金は大企業がいくらでも持っている。税金が我々よりも安く、400数十兆円のお金を貯め込んでいる。いずれ日本が破綻するのではないか。それに対応する教育も考えていかななくてはいけない。</p> <p>○委員長が、発言の中で私が決めたことで、皆さんがどう言おうが一体型にすると発言しているがどうなのか。この地域の人ではないのでどこかに行ってしまうが良い。原田に住んでいるわけでもない。そういうことも踏まえてまともな考え方、良識を持たなくてはだめだ。</p> <p><b>【検討委員長の回答】</b></p> <p>・委員長は教育委員会から依頼を受けて、私が引き受けて行っている。私以外は全員この地域の方であるので地域の皆さんの色々な意見を受けて一体型の結論に至った。最初から勝手にということではない。この点については修正をお願いする。</p>
---	--

2	<p><b>【本郷西の方】</b></p> <p>○基本的には小中一貫教育に賛成し、形としては一体型にならざるを得ない。子どもの視点で見れば大きな集団の中で時には揉まれることも必要である。</p> <p>○一体型の一貫校を整備するのであれば、人間関係の固定化のデメリットは最小限にしなければいけない。それには地域が学校に関わることも大切であり、図書館や防災、学童保育等の施設について、安全面を考慮した上で地域住民が学校に入りやすいハードウェアを整えていただきたい。</p>
---	--

3

【幡鎌の方】

- 地域検討委員会の皆さんにいろいろな角度から検討していただいていることに敬意を表したいと思う。原野谷学園だより第17号にある久米会長の小中一体型の一貫校を目指すということに賛成したいと思う。
- 新たな学園づくりの情報が地域住民に伝わってこない。原野谷学園だよりとして地域に回覧で配布しているが、各戸に届くようにしていただくことにより、情報が伝わると考える。
- 一体型の場合、図書館を学校施設の真ん中に持ってくる、原野谷中学校は防災教育に力を入れているので、防災の充実した施設を入れるなど、売りになる施設を作してほしい。

4

【原谷の方】

- 財政が緊迫する中で一体的な学園を作ることは仕方ない。分離型にするのであれば、原田地区の方が原谷小へ来ていただきたい。現在、原田地区から原谷地区へ人が集まってきている。その流れを止めてしまうと原谷原田地区に拠点がなくなり分散化され、原谷地区に住みたいと思う人たちが減ってしまう。一体型にするのであればこの点も考慮いただきたい。

5

【高山の方】

- 一番心配するのは地域と学校との関わりである。一体型になれば地区に学校がなくなり、農協も駐在所もなくなるという大変過疎的な地域になりつつある。地域住民との関わりのある教育を本当に進めてほしい。
- 最終的な小中一貫教育の決定は全戸住民の賛否を取って結果を出した方が、後々に禍根を残さないのではないかと思う。

6

【西山の方】

- 1つの学校で一貫教育をやるとなると9段階の目標を作ってやらなくてはいけなくなるので、これからの教員は大変だと思う。教職員の多忙化を心配している。
- 落ち着いて授業ができ子どもが夢中になってやれる、そういった教育が望まれる。
- 新しい学校にするのであれば、特別支援学級も入れていただき、新しい計画として出発してほしい。

7

【西山の方】

- 浜松中部学園への視察へ行かせていただいた。素晴らしい学校であった。地域の意見をずいぶん取り入れて作られたということであった。原野谷学園でも地域住民の意見を取り入れてくれそうな雰囲気がある。
- 現状のままでは人数もそれほど増えるわけもなく、学校も多少補修する程度だろう。浜松中部学園とはずいぶん差のある学校で過ごすこととなる。絶対にこの地域に作ってもらわないと困るという気持ちで、地域住民挙げていかないと苦しいと思う。
- 新しい学校が作られたら、原野谷の一貫校が良いなということで自然と他地区か

らも来るかもしれない。人が集まる可能性もある。新東名も近く、工業誘致や宅地開発には恵まれていると思う。

8 【検討委員会副委員長】

- 小学校がなくなるというのは、地区のシンボルがなくなるという後ろ向きではなく、人口減少の中で新しいものを作り新しい取組をしていくという新たな方法で取り組む必要がある。ここに掛川一の静岡一の小中一貫校をつくる、魅力あるものを作ることで、若い人たちが原野谷にとどまると思う。
- 農協や駐在所がなくなるが、新しい取組によって、新しい地域を作っていく、そういう発想でやっていくことがこれからの子どもたちのためになる。一番の根本は、これからの子どもたちのために何をやったら良いかということを考えていくことが一番大切だと思うので、皆さん力を合わせてここに新たな学校を作っていきたいと思う。

9 【検討委員会委員】

- 検討委員会において、一体校を作ることについて、これまで色々と検討し、分離型よりも一体型の方が良いということで意見がまとまってきている。一体校にした方がメリットが大きいのであれば、子どもを大事に考えるのであれば一体型に決めたら良いのではと思っている。
- 浜松中部学園への視察で、校長先生が、小学生にとって目指す姿がすぐ近くにある、中学校の子どもたちの穏やかな顔、自立期の子どもの自主的な取組、教師にとっては身近に相談相手がいる、9年間の子どもの成長を見ることが出来る等の子どものメリットの話をしていて、デメリットとしては時間割の組み方や施設の利用、管理職の負担増など出されたが、デメリットに子どもの課題はなかった。一体校になっての変化が良い方向に向かっているという印象を受けた。新しい学校とともにこのような夢がもてることは良いことだと感じている。
- 若い人たちに、この会を動かしてほしい。子育ても忙しいかもしれないが、1年の中で数回くらいの時間をとって中心となって動いてほしい。

10 【原谷の方】

- 天竜浜名湖鉄道がバス専用道路になっていけば、停留所の数を増やすことができたのではないかなと思う。もしそうなれば原谷の生徒たちもこの中学校に来るのに足があるので楽かなと思う。原田の平島や奥の方の通学をどうするかは課題。範囲が広すぎるのではないかなと思うが、少子化の状況を考えると一体型を作っていく方が良いと思う。

【事務局の回答】

- ・学校との距離が遠い子どもはスクールバスを中心に考えて行くことになる。

11 【本郷の方】

- 一体校建設が何年後かという目処がないので自分の子どもが該当するのかも想像つかない。10年後であれば正直自分の子どもは関係ない。

## (2) 御質問

1 **【原谷の方】**  
○校舎は施設一体型で進めていくことになったのか。  
**【検討委員長の回答】**  
・検討委員会の経過を確認させていただく。検討委員会として当初から施設一体型のみを検討してきたのではなく、色々な意見を踏まえて検討してきた。そうした検討の結果、色々な観点から施設一体型の方が、子どもたちにとって良いということになってきた。

2 **【原谷の方】**  
○検討委員会では、一体校に向けて決定ということで進めていくということか。  
**【検討委員長の回答】**  
・検討委員会では合意を見た。検討委員会の審議の結果を踏まえ教育委員会が予算措置や事業内容を策定していく。

3 **【原谷の方】**  
○検討委員会では何人ぐらい一体型に賛成しているのか。  
**【検討委員長の回答】**  
・検討委員会では全委員の合意によって一体型という結論に至った。検討委員会は教育委員会からの依頼を受けて、委員長以外全員地域の方であるので、その意見を受けて結論に至った。

4 **【原谷の方】**  
○基本構想が数年と書かれているが、具体的に何年後を目標にしているのか。  
**【事務局の回答】**  
・一体校建設を前提にということになるが、基本構想では、学校をどのような学校にしていくのか、建設場所をどこにするのか等を固めた上で施設のプランを作成する。その期間については1年から数年かかると考えている。

5 **【原谷の方】**  
○小中一貫の一体校は賛成する。これを作っていくにあたって最終的な決定権はどこにあるのか。  
**【事務局回答】**  
・掛川市と掛川市教育委員会が最終的に決定する。

6	<p><b>【本郷西の方】</b></p> <p>○小中一貫教育の学校ができると国から特別な補助金が出るのか。補助金があるから一体校が進んでいるのか。補助金を上手に使うために、小中一貫を進めた方が良いという話なのか。</p> <p><b>【事務局回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫の学校を建てるから補助金がもらえるというわけではなく、単独の学校でも補助金はもらえるので、国の制度に違いはない。この地域の将来にとって、どういう在り方が良いのかという視点で考えている。</li> </ul>
---	--

## 2 新たな学園づくり検討委員会及び地域意見交換会の運営等について

### (1) 御意見

1	<p><b>【原谷の方】</b></p> <p>○若い皆さんが来ているので、これからの子どもを原野谷学園に通わせる方の話しを出していただきたい。現実問題として、そういう方々が色々な不安を抱えたり、これからどうなっていくのかというような意見を持っていたりすると思う。</p>
---	--

2	<p><b>【原谷の方】</b></p> <p>○地区のみんながこの話を知っているのか、まずそこではないかと思う。</p>
---	---

3	<p><b>【原谷の方】</b></p> <p>○子どもを持つ親の意見が聞こえてこない。あんり保護者は強制で全員出てもよいのではないかと思う。</p>
---	---

4	<p><b>【本郷の方】</b></p> <p>○平日の夜に、小さい子どもを持つ母親たちの意見を聞きたいというのは難しい。意見を聞きたいのであればアンケートや昼間の時間に動かしてくれないと、このような話自体が分からないと思う。</p> <p><b>【事務局の回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間の時間がよいという要望であれば、昼間に開催する。アンケートについては検討する。</li> </ul>
---	---